

平成29年度事業報告書

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

公益社団法人 東洋療法学校協会

事業の概要

東洋療法学校協会は、平成24年4月から公益社団法人に移行してから6年目となるが、あん摩・マッサージ・指圧、はり、きゆうに関する教育の調査研究及び教材等の開発、学術大会の開催、教員の研修、はき実技評価等を行うことにより、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師の学校（あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師等に関する法律（昭和22年法律第217号）第2条第1項の規定に基づく学校又は養成施設をいう）の教育の振興と、国民の保健衛生の向上に寄与するために、定款に定める事業の推進と継続的發展を図り、あはきに関する普及啓発と安全性・技能向上に、より一層努めた。

1. 公益目的事業

1) 学術大会の実施と学会誌の発行事業

学術大会の開催と学会誌の発行を通じて、あはき師の学校教育の振興を図り、国民の保健衛生の向上に寄与した。

(1) 「第39回学術大会」

開 催 日：平成29年10月11日（水）

開 催 場 所：大阪国際交流センター（大阪市天王寺区上本町8丁目2-6）

大会 テ ー マ：「あはき師への期待 -あはき師に求められるもの-」

参 加 校：34校

参 加 者 数：1,554名

主 管 校：森ノ宮医療学園専門学校

特 別 講 演：朝原 宣治（大阪ガス株式会社）

「アスリートが求める治療者とは」

教 育 講 演：藤崎 和彦（岐阜大学医学部医学教育開発研究センター教授、センター長）

「医師とコミュニケーションをとるために」

研究発表校：32校

演 題 数：口頭発表（12題）、ポスター（29題）

(2) 研究発表論文を集約した学会誌（第41号）を3,100部発行し、会員校・関係団体に販売と配布を行った。

2) 研修会事業

研修会を開催することにより、あはき師の学校教育の振興を図り、国民の保健衛生の向上に寄与した。

(1) 教員研修会の開催を通じて、教員により広い視点からの教育方法やあはきに関する知識を習得させ、資質の向上を図ることが出来た。

「第41回教員研修会」

開 催 日：平成29年8月3日（木）～8月4日（金）

開 催 場 所：鹿児島サンロイヤルホテル

大会 テ ー マ：「斯界黎明の再考」

参 加 校：37校

参加者数：204名

主管校：鹿児島鍼灸専門学校

教育講演：新名主 健一（鹿児島市立図書館館長）

「生きることと読書」

特別講演：丸山 征郎（鹿児島大学大学院歯科学総合研究科システム血栓制御学講座特任教授）

「「鍼灸」に対する現代医学の期待と夢：コヒーレント反応の誘導」

特別講演：吉村 泰輔（株式会社コパコーポレーション代表取締役）

「売の極意塾～ヒトへの『魅力』の伝え方～」

市民公開講座：吉田 浩己（国立大学法人鹿児島大学名誉教授（前学長））

「薩摩と西洋医学」

(2) あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師臨床実習指導者講習会の開催指針に基づいた講習会を通じて、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師養成の質の向上及び臨床実習を行う養成施設における適切な指導者の育成を図ることが出来た。

【平成29年度第1回】（申請者数：29名、受講者数：29名、欠席者数：0名）

日時：平成30年2月17日（土）10：00～19：30

平成30年2月18日（日） 8：00～18：00

会場：森ノ宮医療学園専門学校（アネックス校舎4階講堂）

【平成29年度第2回】（申請者数：49名、受講者数：47名、欠席者数：2名）

日時：平成30年3月10日（土）10：00～19：30

平成30年3月11日（日） 8：00～18：00

会場：呉竹鍼灸柔整専門学校（8階講堂）

【平成29年度第3回】（申請者数：50名、受講者数：47名、欠席者数：3名）

日時：平成30年3月24日（土）10：00～19：30

平成30年3月25日（日） 8：00～18：00

会場：日本鍼灸理療専門学校

3) アンケートによる調査研究事業

(1) 入学者の構成に関するアンケート調査

平成29年度の入学生を対象に、第15回「入学者の構成に関するアンケート調査」を実施し、集計結果を参加校に配布と同時に学校協会ホームページに掲載を行った。アンケート事業は、公益事業であることから非会員校にも参加を呼び掛け、下記のとおり協力が得られたことにより調査内容に厚みを増すことが出来た。

「入学者の構成に関するアンケート調査」

調査月日：平成29年5月1日～平成29年5月31日

参加校：60校（内非会員校16校）

対象者：29年度入学生

参加者数：合計 2,928名

（内訳 あま指課程 202名、はき課程 1,824名、あはき課程 902名）

4) 実技評価事業

(1) はりきゅう実技評価

「はりきゅう実技評価委員会」に登録した実技評価者が、実技評価審査事業に参加を申し込んだ学校に赴き、「実施要領」に基づき鍼灸実技教育の到達レベルを客観的かつ統一的に評価試験を実施し、実技の質向上に努めた。

また、平成25年度からは実技評価に参加した学校・学生に対し、モチベーションを高めるために学校協会から認定証の発行を行っている。

「はりきゅう実技評価審査」

参 加 校：29校【詳細は、会議の開催及び運営状況に掲載】

評価を受けた学生数：1,703名

派遣評価委員数：139名

(2) あま指実技評価

東洋療法学校協会は、「あはき教育」の振興ならびに質の向上に向けて、カリキュラム等の改正に即した積極的な取り組みを進めてきており、“あん摩マッサージ指圧”について、平成29年7月にあま指実技評価準備委員会を立ち上げた。

あま指実技評価試験実施要領を策定するにあたって、試験官の条件を満たす評価者の人数を把握することを目的としたアンケート調査を行った結果を踏まえ、平成29年度3回のあん摩マッサージ指圧実技評価試験委員会を開催し、その結果、2年間（平成30年度・31年度）のトライアル期間を経て、平成32年度より評価試験を実施予定とした。

なお、本委員会の実施する評価は、養成施設に要求される基本的な臨床能力、卒前に必要とされる最低限のあん摩マッサージ指圧技術について、第三者機関としてのあん摩マッサージ指圧実技評価試験委員会が派遣する試験官が統一した評価表で評価する事により、一定の水準の技術力の維持や評価の一般化が図られることを期待して実施するものである。

5) 助成事業

この事業は、学校協会定款の目的に合致する他団体が実施する事業への助成を通じて、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の学校教育の振興を図り、国民の保健衛生の向上に寄与することを目的とするものである。

(1) 学術大会研究発表校に対する助成 160万円（1校 @5万円×32校）

(2) 助成団体 「国民のための鍼灸医療推進機構」 助成金額 100万円

6) 教材の調査研究事業

新しい製品や教材、書籍が発売された際に、当該製品が学校協会から見て教材、書籍として良品であり、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の養成学校において使用することが適切であるかを検討している事業であるが、平成29年度は、出版社等から書籍等の推薦依頼の申込みがなかった。

2. 収益事業等

1) 東洋療法に関する教科書等の作成及び改訂事業

(1) 改訂事業

(7) 全面改訂

- ・「スポーツ東洋療法ハンドブック」の全面改訂に向けて、平成27年度に小委員会を立ち上げ、東京オリンピック前の平成30年度中の発刊を目指して執筆・編集に取り組んでいる。

2) 模擬試験事業

あはき師国家試験に備えた模擬試験を実施することにより、問題作成のための勉強会や良質な試験問題作成等を通じて教員の資質向上や、学生のあはき師国家試験対策を図ることが可能となるため、第5回目の模擬試験事業を実施した。非会員校にも参加を呼び掛けた結果、下記の事業内容となった。

「第5回模擬試験」

- ・試験実施日 平成29年11月3日（金）～19日（日）
- ・参加校 69校（内非会員校 23校）
- ・受験者数 2,751名（内非会員校 456名）

3) 会員相互扶助

(1) 研修会事業

会員校の健全な運営に資するため、代表者・教職員等に対し、あはき養成施設における第三者評価について、鍼灸分野別第三者評価のモデル事業を受審した専門学校の現状や制度関係など学校運営上必要とする研修会を開催した。

(7) 企画調整部（経営委員会）研修会【出席者数28名】

開催日：平成30年度3月20日（火） 16:10～17:00

開催場所：浜松町東京会館オリオンルーム（世界貿易センタービル39階）

研修内容：「あはき養成施設における第三者評価について」～

- ・「高等教育機関等での第三者評価の現状」
- ・「専門職大学、養成施設での第三者評価制度の導入」
- ・「あはき（東洋療法学校協会）の分野別評価の実施」

講師：特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構理事 関口正雄

(2) 会報事業

当協会の運営・活動状況を、会員校に情報提供するための会報を年4回発行し、各会員校及び監督官庁並びに関係諸団体等に配布を行った。

- ・会報 第111号～114号を発行

(3) 表彰事業

(7) 各会員校の特別に優秀な卒業生に対し、その努力を称えるための「盾」を当協会会長から授与した。

- ・優秀卒業生数 45名

(1) 学術大会での研究発表者に対し、当協会会長から「表彰状」を授与した。

- ・学術大会表彰者数 200名（32校）

3. その他

1) 厚生労働省医政局医事課に対し、①あはき師養成施設指導要領の見直し(必要単位数に最低授業時間数を併記)、②校外における実習等の認可、③講義・実習等への教員資格が無くても、高い専門性を持つ有識者の登用を認めて頂きたいとの要請を長年行ってきた結果、厚生労働省が平成27年度に「あはき学校養成施設カリキュラム等改善検討会」を設置し、平成28年度にかけて計5回の検討会が開催され、認定規則等の改正を踏まえた総単位数の引上げ・最低履修時間数の設定、臨床実習の在り方、専任教員の見直し等が報告書に纏められ、平成30年度から実施されることとなった。

(1) 学校協会では、「あはき学校養成施設カリキュラム等改善検討会」の報告を受けて、報告書内容に対応するために、新カリキュラムワーキンググループを立ち上げて、教材・臨床実習マニュアル・実技評価・臨床実習指導者講習会・国試改善のあり方等について、精力的に話し合いが持たれた。

2) 平成30年2月実施の第26回あはき師国家試験問題等について、各会員校から意見を求め、国家試験検討委員会において協議取りまとめを行い、「第26回あはき師国家試験に対する意見」として、(公財)東洋療法研修試験財団理事長に提出をみた。

3) 各会員校とのネットワークの強化、各会員校の学生募集への寄与、あはきの普及啓発のためにホームページの充実を図っているが、その一環として会員校から「東洋雑学事典Q&A」の提出を頂き、ホームページに「東洋雑学事典Q&A」の掲載を引き続き行っている。

4) 広報活動の一環として「会員校名簿」「会員校要覧」及び「会員校学生募集要項」等の作成、リーフレットは部分的な見直しを図って会員校のほか行政機関、業界団体並びに一般関係者に対し情報提供の資料として活用を行った。

5) 昨年度に引き続いて、(公財)東洋療法研修試験財団が発行する「厚生労働大臣免許保有証」の申請手続きは、15校から79名の申込みがあった。

6) 事業推進のため、関係行政機関との連携を密にし、(公財)東洋療法研修試験財団、(公社)全日本鍼灸学会、あはき等法推進協議会、マッサージ等将来研究会、国民のための鍼灸医療推進機構等のほか教育団体及び関係団体との情報交換を密にし、相互協力・連携強化に務めた。

7) 平成27年度から、あはき師の質の高い教育を担う人材養成の一環として、教員養成学科を設置している専門学校(現在7校)の教員養成学科の教育に携わっている教員養成学科の責任者、教員養成学科担当教員、教員養成の教育に興味・関心のある教員等が参加し、今の時代に則した教員養成に関する教育について、教員同士が意見交換や情報交流を行っている。

4. 会議の開催及び運営状況について

本学校協会における平成29年度の総会、理事会、各事業部(委員会)等の開催及び運営状況は、以下のとおりである。